

創立71周年

令和3年度 2月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



気持ちを一つに

園長 北村 恵

大寒が過ぎ本格的な寒さがやってきましたが、幼稚園の中は、子供たちのパワーとエネルギーが溢れ、ポカポカしています。生活発表会に向けて、劇ごっこや楽器、歌などの活動が、どの学年でも始まっているのも大きな一因です。

うさぎ組の部屋には、赤い大きなお風呂屋の「のれん」がかかっています。のれんの奥には、思わず入りたくなるような湯舟が待っています。ふわふわスポンジとたらいを持った子供たちがお互いに背中を流しっこしたり頭からお湯をかけたりして遊んでいます。いかにも気持ちよさそうです。

ぱんだ組の部屋では、ショーごっこが人気です。舞台の前には観客席も用意されていて、シンカリオンやアナ雪のショーを見ることができます。先生が作ってくれるビニールの衣装がお気に入り、朝の支度を済ませると衣装に着替え、帰りにはその衣装を家に持って帰りたくなってしまいう子もいます。

ぞう組の保育室には、子供たちが話し合って考えた劇のストーリーを、紙芝居のように先生が描いて貼ってあります。魔女にこうもり、押し入れ、ロボット、トンネルなど、見ただけで期待が膨らんでワクワクしてきます。きっとご家庭でも話題になっているのではないのでしょうか？そして、今年のぞう組の合奏曲は、運動会の行進で使った「ドラゴンクエスト」交響曲からのメドレーです。私は、ぞう組の合奏の一員として伴奏に参加させてもらい、一緒にやり遂げた一体感を得られる体験を毎年楽しみにしています。年長の合奏は、一人一人が担当する楽器を様々な鳴らし方で演奏します。個々の演奏が、担任の先生の指揮のもとに、一つの曲としてピタッと決まった時の爽快感は何物にも代えがたいのです。

子供たちが楽器の担当を決めるのは、リハーサルの直前です。それまでは、誰がどの楽器を演奏しても大丈夫なように、たくさんの楽器を何度も互いに取り換えて繰り返し演奏していきます。指揮をとる先生も必死ですが、子供たちも真剣なまなざしで先生を見つめています。

自分の楽器をリズムに合わせて気持ちのいい音で鳴らすこと。先生の指揮を見ること。友達の演奏を聴くこと。同じ楽器を担当する友達と気持ちを合わせること。合奏の中で、子供たちはたくさんのことを経験しています。けれども、年長でここまでできるようになるためには年少からの積み重ねが大事なのです。3歳では、みんなで一緒に曲に合わせて鈴を鳴らす気持ちよさを経験します。4歳の時は分担奏を行い、楽器を順番に鳴らすことで、自分の番が来るのを待ちながら、友達の音を聞く大切さを知ります。そして、5歳児はメロディー楽器も使いながら、それぞれが違うことをしていても、気持ちを合わせて一つの演奏を作り上げる楽しさを経験するのです。

生活発表会は、年長児にとっては幼稚園で最後の大きな行事になります。学級としてのまとまりも感じながら取り組んでいる姿を、今年こそ、ご家族の皆さんにご覧いただきたいと思っています。